

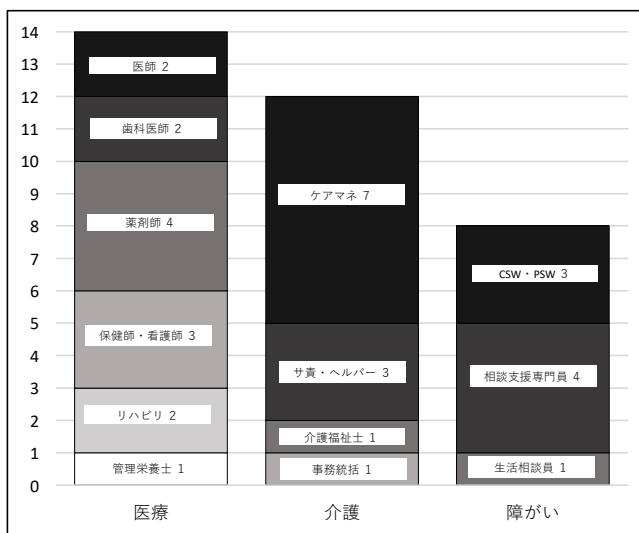
令和5年度粕江市医療と介護の多職種連携研修会 受講後アンケート結果

参加者数	49人
アンケート回答者数	34人
回答率	69%

※委員長、講師、事務局を除く

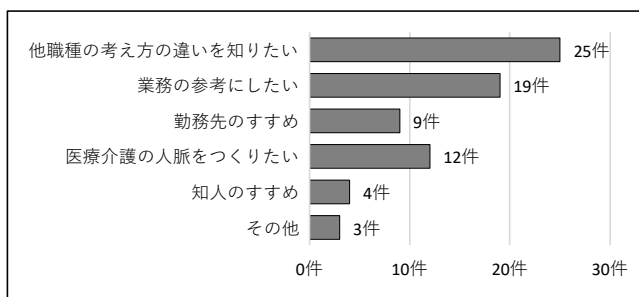
1 回答者の職種

医療	医師	2人
	歯科医師	2人
	薬剤師	4人
	保健師・看護師	3人
	リハビリテーション専門職 (PT,OT,ST)	2人
	管理栄養士	1人
介護	主任介護支援専門員・介護支援専門員	7人
	サービス提供責任者・ヘルパー	3人
	介護福祉士	1人
	事務統括マネージャー	1人
障がい	社会福祉士・精神保健福祉士	3人
	相談支援専門員	4人
	生活相談員	1人



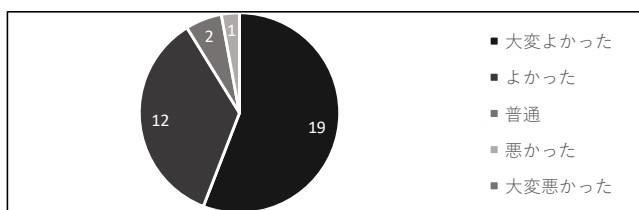
2 参加の動機(複数回答可)

他職種の考え方の違いを知りたい	25件
業務の参考にしたい	19件
勤務先のすすめ	9件
医療介護の人脈をつくりたい	12件
知人のすすめ	4件
その他	3件



3 評価

大変よかった	19人
よかった	12人
普通	2人
悪かった	1人
大変悪かった	0人



4 その理由(紙面の都合上、一部のみ掲載させていただきます。)

評価	理由
大変よかった	講演では今の現状を知ることが出来ました。また、グループワークを通して様々な職種の方と事例を通してその職種が出来る事を声として自分自身の耳で聞いたことは大変参考になりました。チームで取り組む事で色々と支援する側の抱えこみを防ぐことも可能と感じました。
よかった	講義では、複合的な課題を有する方への具体的なアプローチの方法や他職種間での連携の取り方を知ることができたからです。またグループワークでは自分の視点とは違う他職種の方の意見が聞けて大変勉強になりました。
普通	さまざまな職種の方と関わる事が出来たことがよかったです。さまざまな職種の方がいらしたからこそ、どこに主眼を置いた研修にするのかは難しいと感じました。一口に他職種連携といっても、本当の意味で連携し合うには数時間の研修時間の中では限界を感じました。
悪かった	せっかく「世帯」での支援、連携を考える機会だったかと思えます。事例も介護保険、障がい福祉、双方が関わっていたわけですから、「提供者」も双方から出てくださった方がよかったのではないかと思います。(障がい福祉のサービス名などが明らかに間違っていたりなどしていました(居宅介護→訪問介護、訪問看護は障がい福祉サービスではないのにそう記載されているなど)まさかとは思いますが、息子さんの障がい福祉の相談支援専門員の方に事例提出の件を相談したりしていないということであれば、他職種連携の基本、互いへのリスペクトの欠如といえるのではないのでしょうか。また、この世帯事例のアセスメントが非常に曖昧な中で、「何が出来るか」というプランニングの話だけを断片的にしてもどうなのかと思わずにはられませんでした。

5 感想（紙面の都合上、一部のみ掲載させていただきます。）

この度は参加させていただきありがとうございます。準備も大変だと思いますが、とても勉強になりました。このような研修会をきっかけに、他職種の方と顔の見える関係を築いていけたらと思います。またぜひ参加したいです。よろしくお願い申し上げます。本当にありがとうございます。

狛江市は在宅医療において、とても恵まれている環境にあることがわかりました。そして他職種間での連携を取ることの大切さを改めて今回の研修で学ぶことができました。ただ実際にはなかなか連携が取れず物事が前に進まないこともあります。普段はSNSで連携を取ることが多いですが、まだSNSを利用していない事業所もあります。SNSの利便さをもっと広めて、より連携が取りやすい環境になればよいと思います。

グループディスカッションについて、もう少し目的をわかりやすくしてほしい。家庭の全体像の捉えることなのか、ACPのことなのか。支援者が今後どう支援をしたらいいか悩んでいるのか・・・よくわからなかった。それもあってか、ディスカッションで、様々な方針の視点が出てしまい、意見の集約が難しい状況だった。

きちんと、他領域も混じり合っただけで、事例検討の機会を重ねていけばよいのではないかと思います。それには、アセスメントとプランニングをきちんと分けるプロセスでの検討が必要ですし、ライフストーリーでなくライフストーリーとして、対象者理解をすすめることも必要です。2/13に行います令和5年度狛江市地域自立支援協議会主催の研修企画ではそうした生きた事例検討をしていく「野中式事例検討」を学ぶ機会となります。本事例もちゃんと野中式で事例検討をすともっと学べる機会になったのにと感じました。

6 今後本研修会で学びたいテーマ（紙面の都合上、一部のみ掲載させていただきます。）

身寄りのなく意思決定が難しくなってきた高齢者の支援について（意思疎通できなくなった時のことを備えて自分たちに出来ること）

認知症の薬の効能について、また効果的な対応方法やサービスについて

今後も、医療、介護、福祉、障がい分野を交えてのグループワークやそれぞれの課題を投げかける場所として開催して頂けたらと希望しています

ヤングケアラー、ミドルケアラー（8050）とともに、今後も取り組んでほしいです。障害サービスとの連携が今後もっと、もっとできてくるといと思っています。

例えば、本日の研修の内容で、更に深く事例を検討したいと思いました。

地域リハビリテーション

生保の方の在宅医療の事例検討や生保について詳しく学んでみたいです。

在宅介護におけるレスパイト事例。本人と家族間を調整するコーディネーターの役割。

退院時の「退院時カンファレンス」などを通じた自宅療養への切り替え時の多職種連携研修（地域ケア会議）などの開催を希望いたします。

地域防災、緊急対応の在り方について、現実的な取組を考える必要を感じています。